

# 子どもの「生きづらさ」 を考える

## ～デジタル活用と居場所づくりのこれから～

参加料  
無料

日時：令和8年3月7日（土）14時～16時

場所：多摩市立中央図書館 活動室1

定員：40名（事前申込・先着順）

若年層の自殺危機の高まりなどの現状や課題について、一緒に考えてみませんか？

講演会やトークセッションの他、多摩大学の学生が多摩市と連携して中学生のこころの悩みを分析した結果とその結果から検討した施策の提言を行ないます。

### 内容

#### ■若年層の自殺者増の現状・背景・法制度について

##### 新井 崇弘氏

（多摩大学経営情報学部 専任講師）

オンライン情報を活用した自殺対策や孤独・孤立対策などを専門に研究



#### ■データで探る子どもの「生きづらさ」

#### 不登校と自殺問題から考える新しい支援のかたち

和歌山県データ利活用コンペティションで  
「データ利活用賞」を受賞した研究です

#### 新井ゼミ学生発表



#### ■ゲストスピーカーによる講演、トークセッション

子ども・若者の生きづらさ、AI相談の増加、これからの居場所づくりとは？などお話をいただきます。

##### 新海 浩之氏

（神奈川大学法学部教授）

専門は、刑事政策、犯罪学、  
犯罪・非行、依存症、自殺対策など



##### 山村 和恵氏

（立命館守山中学校・  
高等学校養護教諭）

メタバースやAIを活用して生徒が悩みなどを  
相談できる「デジタル保健室」を考案



#### 【主催・申込先】

多摩市役所 福祉総務課

042-338-6889

お申込みフォームはこちらから

[https://logoform.jp/  
form/4N4o/1436047](https://logoform.jp/form/4N4o/1436047)



#### 【会場案内図】

